2025

小論文（海外帰国生徒・社会人入試）

注　意

１．試験開始の合図があるまでに、この注意をよく読んで間違いのないようにして下さい。
２．試験開始の合図があるまで、問題を開かないで下さい。また解答用紙は机の上に裏返しにしておいて下さい。
３．この問題の本文は 5 ページです。落丁、乱丁、印刷不鮮明などの箇所がある場合は申し出て下さい。
４．解答は必ず解答用紙の所定の場所に記入して下さい。解答用紙は１枚です。なお、下書き用紙を１枚配布します。
５．文字ははっきり書いて下さい。解答の文字が読みにくい場合は点を与えないことがあります。
６．解答用紙には受験番号を必ず記入して下さい。
７．解答用紙の評価欄には何も記入しないで下さい。

次の記事では七人の意見が紹介されています。この記事を読んで以下の設問に答えなさい。

（１）記事で紹介された意見のうち、あなたが最も共感できるものを一つ選び、なぜその意見が他の六つと比べて共感できるのかについて説明しなさい。共感できる意見の番号を明記し、一〇〇字以上二〇〇字以内で述べること。

（２）自身の国際的な経験をふまえたうえで「ＡＩ時代の語学」に対するあなたの考えを五〇〇字以上六〇〇字以内でまとめなさい。

＊（１）（２）ともに字数には句読点、改行のための空欄を含めます。なお字数の不足・超過は減点の対象となることがあります。

スマートフォンを使えば、ＡＩ（人工知能）翻訳アプリが一瞬で外国語を訳してくれる時代。新しいテクノロジーを歓迎し、コミュニケーションの道具としてどんどん使っていくべきだという声の一方、ＡＩを使いつつも頼りすぎずに工夫して学習をという学生、歌詞や映画のセリフなど、まだまだ人間のセンスが必要という声も。本当の異文化交流には、やはり言語を通じて相手側の文化を学ぶことが欠かせないとの声もありました。

① 美術や音楽のような科目になる　日本語講師　（埼玉県　５０）

私は約２０年間、中国の大学、専門学校、高校で日本語教師をしてきました。「ＡＩが発達すれば、あえて外国語を勉強することはなくなる」という意見を私自身もよく耳にします。しかし、私は、語学科目は美術や音楽のような科目になっていくのではないか、と考えています。

美術や音楽は、義務教育期間中と高校の選択科目で勉強します。私はあまり好きではなかったのですが、本当に興味を持ち、深く勉強したいという学生もいました。そういう学生は音楽大学や美術大学、あるいは専門学校に行って、さらに勉強しました。

外国語も、芸術科目のように学校では週１回ぐらいになり、興味を持った学生が将来、外国語大学や専門学校に行き、ＡＩに頼るのではなく自分の頭で考えて使っていくようになるのではないでしょうか。一定数の「表面的でなく、その言葉が持つ文化的な背景などを勉強したい」という学生は残り続けるはずです。

これ以外でも、結婚など必要に迫られて「体感で外国語を身に付けたい」という人はいるはずです。ＡＩ時代でも細々と今のような状況は残ると考えています。

② 便利さに溺れず、学習に工夫を　高校生　（群馬県　１６）

ＡＩ翻訳により、私たちの生活は格段に便利になった。今まで長い時間をかけていた英作文の課題は一瞬で翻訳されるようになった。自分では思いつかないようなフレーズを提案してくれる。文法の誤りもなく、スペルミスもしない。しかし、いつしかＡＩ翻訳ばかりに頼り、自ら考えることを放棄している自分がいることに気がついた。そんな語学学習は、まったく楽しくなかった。

言語の学習は、ただ単語や文法を覚えることではなく、その国の価値観を理解することにつながると私は考える。母国語にはない表現や、大切にされている言葉に触れるのは、非常に新鮮で興味深く、語学学習の醍醐（だいご）味でもある。だから、ＡＩ翻訳を使うときも、知らない単語が出てきたら使う前に調べるというルールを作った。また、生成された文章の動詞を変えたり、接続詞や副詞をつけたりして、自分なりの工夫を加えることにもこだわっている。

ＡＩ翻訳の利便性ゆえに、機能を妄信していないか、自分自身に問いかけてみてほしい。ＡＩ翻訳を味方につけるには、客観的に文章を見つめ、新しい知識を身につけたいという向上心を忘れないことが大切だ。

③ 積極活用、いきなり会話の時代　ＩＴエンジニア　（大阪府　６３）

かつて電卓は一般的でなく、ソロバンが事務職の必需品だった時代がありました。小学生は当たり前のようにソロバン塾に通いました。今やパソコンが当たり前となり、売り上げ予測などは誰でも表計算ソフトで

簡単にできます。ソロバンでするなら大変です。同じことが語学でも起きているのです。語学教育＝ソロバン、ＡＩ翻訳＝パソコン、と考えれば、やがてＡＩ翻訳が当たり前となり、それを使うことでもっと豊かな世界が広がるでしょう。

日本は英語教育に偏重し過ぎです。語学はコミュニケーションの一つの手段で、目的ではないのです。語学の才能がない私ですが、ＳＮＳにＡＩ翻訳した投稿を上げ、外国人の方から「いいね」を頂いたときは、これがコミュニケーションというものなんだとしみじみ思いました。語学ができないからコミュニケーションを諦めるのではなく、ＡＩ翻訳を積極的に活用し、いきなりコミュニケーションから始めましょう。そんな時代が来ているのです。

④ 分断した世界、超えるのは言葉　主婦　（東京都　４０）

若い頃、ラテン歌手を目指し、スペイン語を習得した。そのお陰で、いまだにスペイン語の歌詞を訳すことが多い。昨今のＡＩ翻訳の発達には、勉学に励んだ若き日々が嘘（うそ）のように吹き飛ばされるような感覚さえ覚える。しかし、歌詞の場合、言葉の中に微妙なニュアンスが含まれていたり、感情を独特の表現で表したりすることがよくある。ＡＩはその部分までくみ取ることはできない。

今後ＡＩが進化しても、人間が生みだす感性に追いつくのは難しいはずだ。言語は生き物であり変化していく。特に歌詞は、流行（はや）りの言葉や言い回し、歌い手の年齢やキャラクターによっても伝わる意味が大きく変わる。言語を訳すということは、言葉をただ変換するだけではない。その国の背景や文化、さらには歴史を学ぶからこそ理解できるのだと思っている。

私は他言語を学ぶことは、その国に対するリスペクトだと考えている。言語には文化や人々の思いがつまっている。分断する世界に危機感を持つなら、人間はＡＩに頼るのではなく、まずは他言語を学ぶ。そこから始めるべきだ。

⑤ アプリでやり取り、残る違和感　団体職員　（東京都　５９）

先日、久々に浅草を訪れた。外国人の男性に呼び止められて、あれこれ聞かれた。ただし、スマホの翻訳アプリを介してのコミュニケーションだ。「あなたのお薦めの天ぷら屋はどこか」「あなたの好きなそば屋はどこか」といった質問がスマホから聞こえてきて、私が言ったことを、彼はスマホのアプリを通して理解し、メモしていた。

時代が進化したことを感じるとともに、こうしたコミュニケーションに違和感を覚えた。そのときのやり取りが「対話」ではなくて「会話」だったからだ。辞書では「対話」とは向かい合って話し合う、とある。一方、「会話」は、話をやり取りすること、とある。私と彼とのコミュニケーションはまさに「会話」の方だった。

語学とは、言うまでもなく「対話」が求められる。相手の目を見て向かい合って話し、この言葉を発したことで相手はどう思ったかなど、相手の気持ちをくみながら意思疎通を行っていくものだと思う。どんなにＡＩが進化しても、語学の重要性は何ら変わることはなく、増していくことと思う。

⑥ 外国語で思考する、贅沢な時間　全国通訳案内士　（長崎県　５７）

以前、熊本・阿蘇の草千里でドイツ人の若いカップルに出くわしました。自動翻訳機を携帯し、旅行にはこれで事足りるとご満悦の様子。いつか自分の仕事は消滅する運命なのかなあと、不安がよぎりました。

これからの語学のプロは、ＡＩが翻訳したものを、あらゆる分野の専門知識をフル活用してチェックするのが仕事になるのでしょう。しかも、外国語の壁が消滅する時代の到来さえ予感します。

そういう私は、一度、ＡＩを使用すると怠惰になる自分が怖いので、まだ使っていません。そして将来もし外国語の壁が消滅する時代が来ても、ドイツ文学の原書と辞書を携え、たまには静かな音楽が流れる喫茶店に行き、おいしい珈琲（コーヒー）とケーキを頂きながら読書に耽（ふけ）る贅沢（ぜいたく）な時間だけは堪能したい所存です。なぜなら、外国語を通して思考し、感じる能力は、人間の最後の砦（とりで）と

して手放してはいけないと思うからです。

⑦ 映画字幕、人間にしかできぬ業　パート　（神奈川県　５８）

ＡＩ翻訳は、人による翻訳を凌駕（りょうが）できないと思う。先日、映画館で字幕付きの映画を見てそう感じた。俳優の話す原語のセリフからは想像できないほど意訳しつつ、会話の流れを壊さない、全く違和感を感じさせないものだった。会話には、前後の脈絡を捉えたスムーズな流れが必要で、なおかつ観客のドキドキ感やハラハラ感を誘導する言葉がいる。

観光業や窓口対応などでは、確かにＡＩ翻訳も敏腕ぶりを見せてくれるであろう。しかし文学作品のような文化的、歴史的バックグラウンドを捉える、心を揺さぶるような翻訳をＡＩに期待するのは酷であろう。会議などでもＡＩの間違いを指摘できるくらいの語学力は必要である。

翻訳文を推敲（すいこう）する校正者にはプロの業が必要で、プロとしての矜持（きょうじ）があるはずだし、ＡＩの侵入を許さないであろう。それは、将来残されていくべき一つの芸術分野であり、人間にしかできない業であると思う。

［（声　どう思いますか）ＡＩ時代の語学（朝日新聞　２０２３年９月６日　朝刊）より編集］

朝日新聞社に無断で転載することを禁じる　承諾番号２５－０６２９

解答用紙

受験番号 | | | | |

【注意】自分の名前を解答用紙に書いてはいけません。

総点

(1) 最も共感できる意見の番号[　　]

100

200

(2)

500

600

小論文　出題の意図

入 試 年 度：　2025（令和７）年度

入 試 名 称：　海外帰国生徒・社会人

入試実施日：　2024（令和６）年　10　月　19　日

※この「出題の意図」についての質問、照会には一切回答しません。

文章を読み解き、複数の意見を比較しそれをまとめる力をみるために、「共感できる意見」について説明することを課した。また課題文の論点を把握したうえで自分の意見を持ち、それを適切な言葉で表現する能力をみるために、「AI 時代の語学」について論じることを求めた。